

資 料

相生市次世代育成支援行動計画策定委員会設置要綱

平成16年10月22日

訓令第44号

(設置)

第1条 次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第8条に規定する市町村行動計画である相生市次世代育成支援行動計画を策定するため、相生市次世代育成支援行動計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、相生市次世代育成支援行動計画の策定について審議する。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる20名以内の者をもって組織し、市長が委嘱する。

- (1) 子育てに関する学識経験者
- (2) 保健、医療、教育の各分野を代表する者
- (3) 社会福祉団体の代表
- (4) 子育て中の保護者代表
- (5) 行政機関の代表
- (6) その他市長が認めた者
(一部改正〔平成21年7月1日〕)

(運営)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- (1) 委員長は、委員の互選により選出する。
- (2) 委員長は、委員会を招集し、議事進行にあたる。
- (3) 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員が職務を代理する。

(意見聴取)

第5条 委員会は必要に応じ、有識者等の意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、子育て支援室において処理する。
(一部改正〔平成21年7月1日〕)

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この訓令は、平成16年10月22日から施行する。

附 則(平成21年7月1日)

この訓令は、平成21年7月1日から施行する。

相生市次世代育成支援行動計画策定委員会委員名簿

団 体 名 等	職 名 等	氏 名	備 考
学識経験者			
関西福祉大学 社会福祉学部	准教授	服部 伸一	職務代理者
保健・医療団体代表			
(社)相生市医師会	会 長	魚橋 武司	委員長
(社)相生・赤穂市郡歯科医師会	会 長	大川 幸矩	
教育関係代表			
小学校校長会	代表校長	内中 秀樹	
幼稚園園長会	代表園長	大壁 真知子	
社会福祉団体代表			
相生市連合自治会	会 長	津田 蒔	
相生市社会福祉協議会	事務局長	谷 勝雄	
相生市民生児童委員協議会	副会長	下房 道子	
相生市 P T A 連絡協議会	会 長	藤井 利和	
保育協会相生支部	副支部長	宮崎 由子	
相生市子育てネットワーク推進協議会	副会長	木南 朝子	
子育て中の保護者代表			
(公募)保護者代表		宮城 裕佳	
相生市ファミリーサポートセンター	会 員	大西 典子	
その他市長が必要と認めた者			
相生商工会議所	専務理事	谷知 文啓	平成 21 年 12 月まで
相生商工会議所 中小企業相談所	所 長	宮崎 秀隆	平成 22 年 1 月から
行政機関の代表			
相生市市民福祉部	部 長	丸山 英男	
相生市教育委員会	次 長	浅井 昌平	

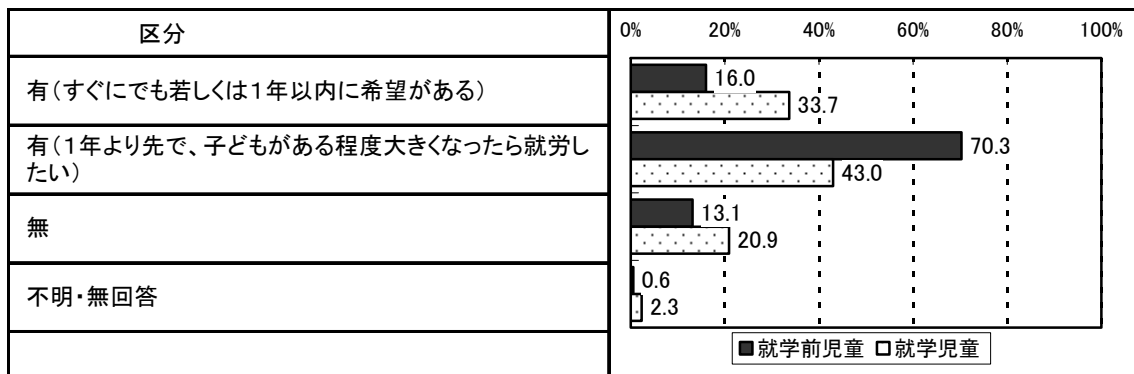
(敬称略)

相生市次世代育成支援後期行動計画策定経過

日 程		内 容
平成 21 年	3月9日～25日	ニーズ調査の実施
	8月19日	第1回相生市次世代育成支援対策推進協議会開催 ・相生市次世代育成支援後期行動計画策定の背景と趣旨の説明 ・ニーズ調査の結果概要説明
	8月24日	第1回相生市次世代育成支援行動計画策定委員会開催 ・委員長・職務代理者の選任 ・相生市次世代育成支援後期行動計画策定の背景と趣旨の説明 ・ニーズ調査の結果概要説明
	9月4日～25日	ヒアリング調査の実施
	12月18日	第2回相生市次世代育成支援対策推進協議会開催 ・相生市次世代育成支援後期行動計画（案）の検討 ・相生市民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の実施について説明
	12月22日	第2回相生市次世代育成支援行動計画策定委員会開催 ・相生市次世代育成支援後期行動計画（案）の検討 ・相生市民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の実施について説明
平成 22 年	1月12日～ 2月1日	相生市民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の実施 パブリック・コメント制度での市民からの意見提出はありませんでした。
	2月26日	第3回相生市次世代育成支援対策推進協議会開催 ・相生市民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の結果報告 ・相生市次世代育成支援後期行動計画（案）の検討
	3月26日	第3回相生市次世代育成支援行動計画策定委員会開催 ・相生市民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の結果報告 ・相生市次世代育成支援後期行動計画（案）の検討

ニーズ調査結果概要版

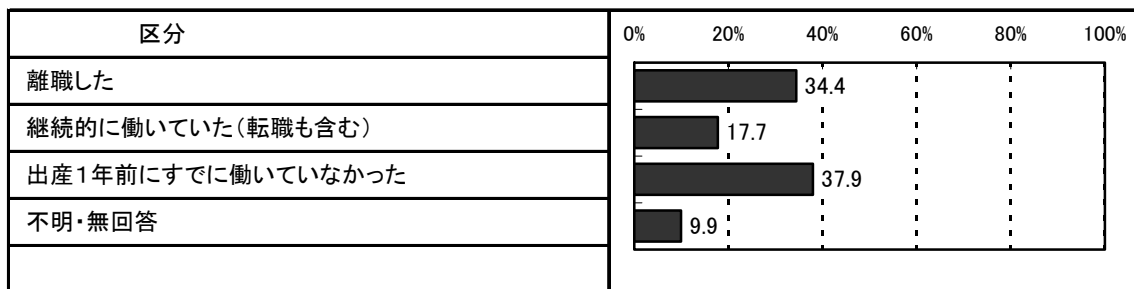
母親の就労希望



就学前児童調査では、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が70.3%で最も高く、「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」(16.0%)、「無」(13.1%)がつづいています。

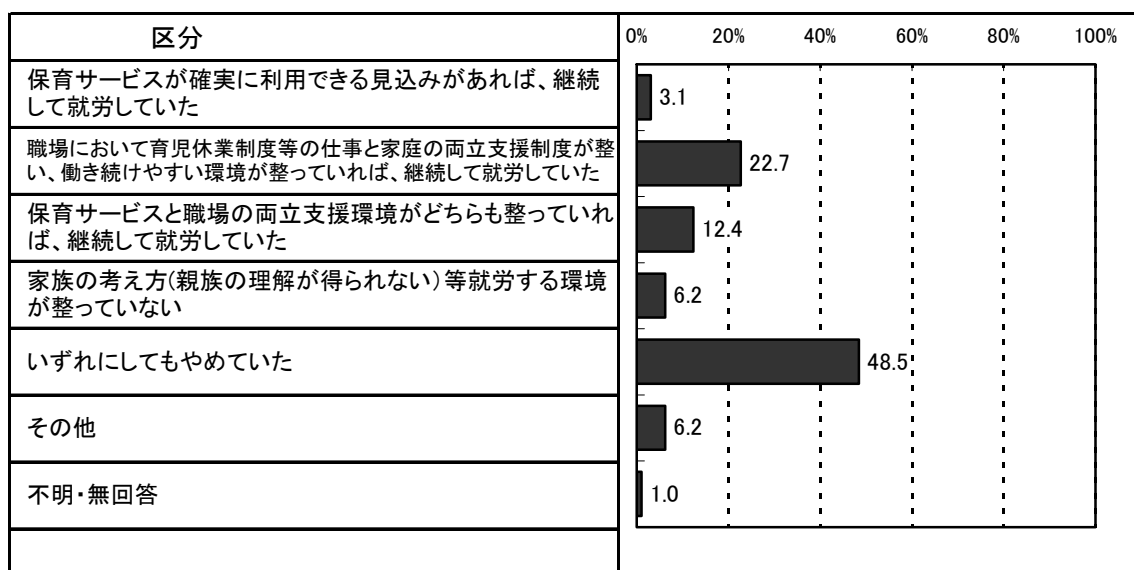
就学児童調査では、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が43.0%で最も高く、「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」(33.7%)、「無」(20.9%)がつづいています。

母親の出産前後1年以内の離職状況(就学前児童)



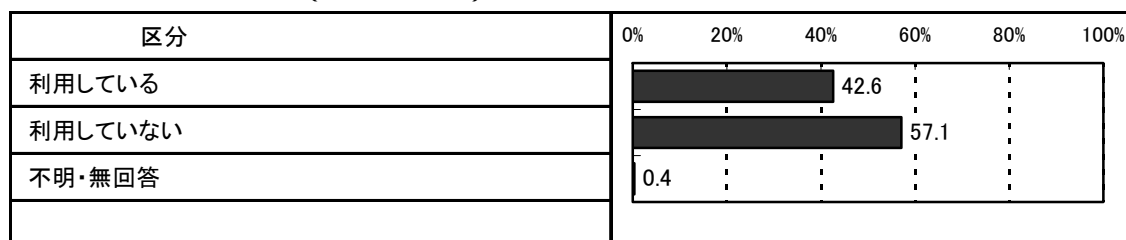
「出産1年前にすでに働いていなかった」が37.9%で最も高く、「離職した」(34.4%)、「継続的に働いていた(転職も含む)」(17.7%)がつづいています。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていた場合の、就労を継続の有無（就学前児童）



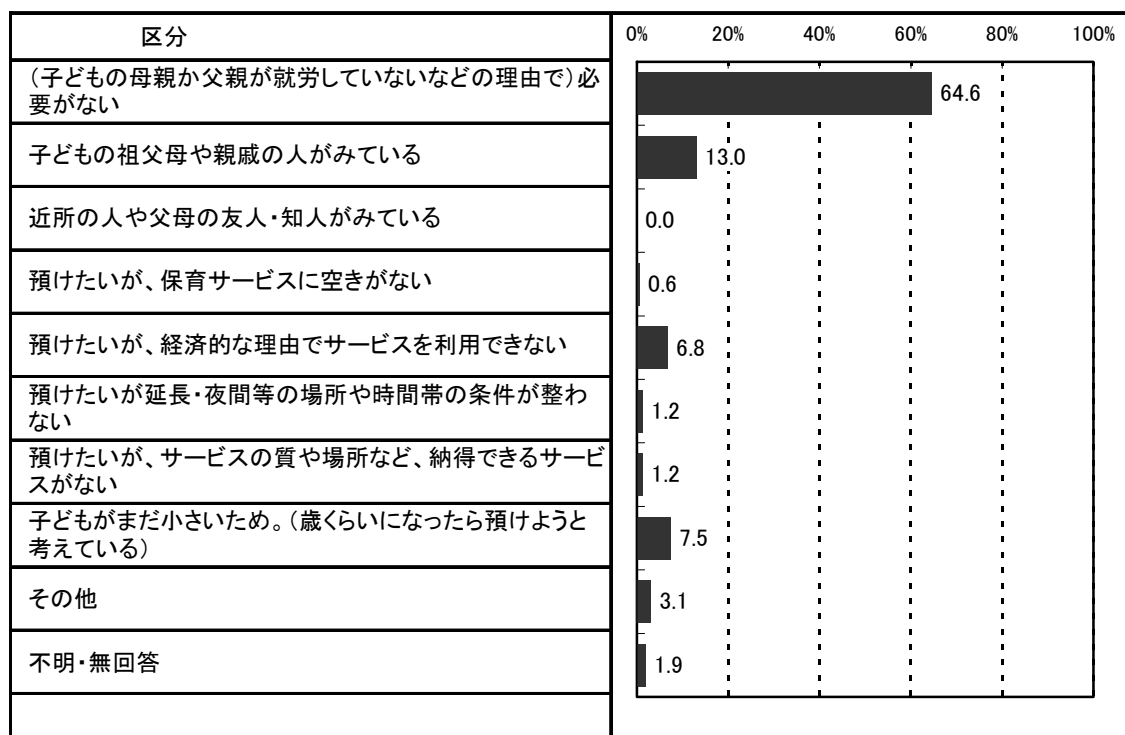
「いずれにしてもやめていた」が48.5%で最も高く、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」(22.7%)、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」(12.4%)がつづいています。

保育サービスの利用の有無（就学前児童）



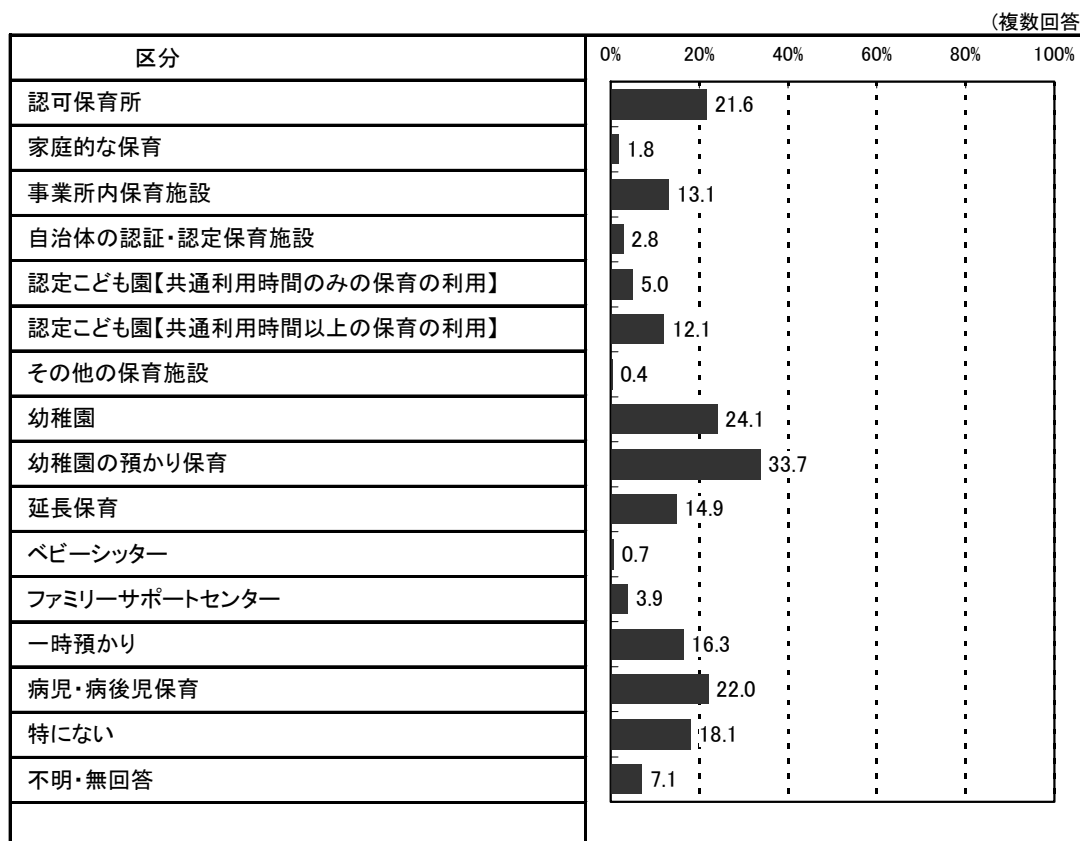
「利用していない」が57.1%、「利用している」が42.6%となっています。

保育サービスを利用していない理由（就学前児童）



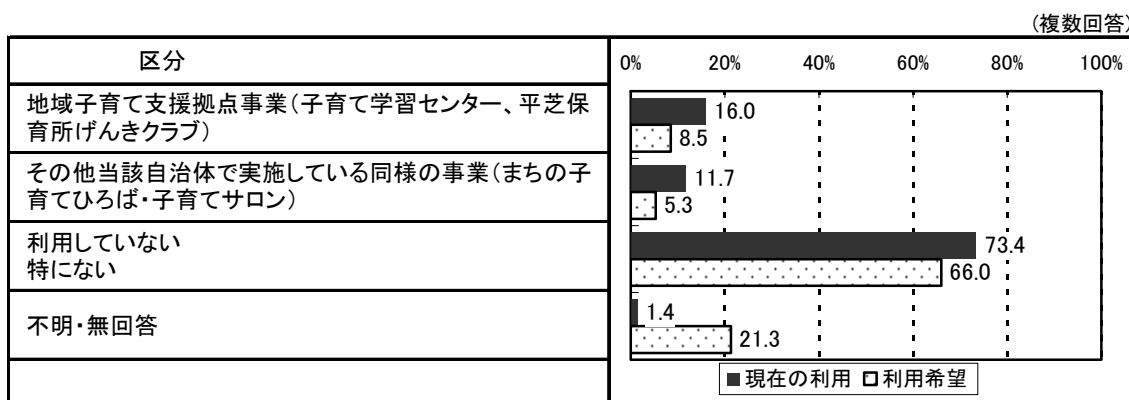
「（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない」が 64.6%で最も高く、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(13.0%)、「子どもがまだ小さいため。（歳くらいになったら預けようと考えている）」(7.5%)がつづいています。

保育サービスの利用希望（就学前児童）



「幼稚園の預かり保育」が 33.7%で最も高く、「幼稚園」(24.1%)、「病児・病後児保育」(22.0%)がつづいています。

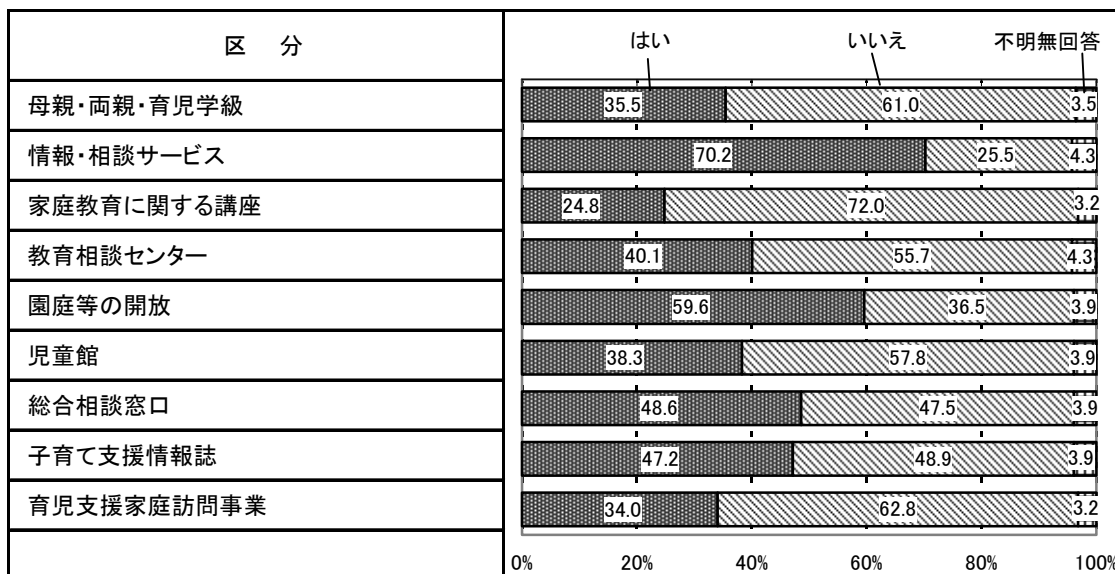
地域子育て支援拠点事業の利用の有無と今後の利用希望（就学前児童）



現在の利用では「利用していない」が 73.4%で最も高く、「地域子育て支援拠点事業(子育て学習センター、平芝保育所げんきクラブ)」(16.0%)、「その他当該自治体で実施している同様の事業(まちの子育てひろば・子育てサロン)」(11.7%)がつづいています。

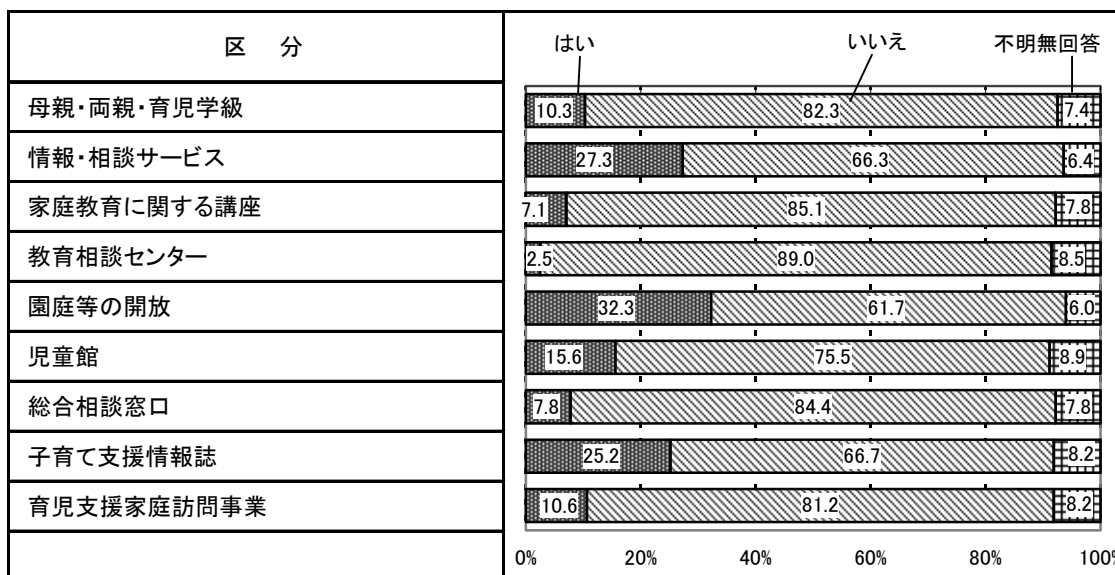
今後の利用希望では「特にない」が 66.0%で最も高く、「地域子育て支援拠点事業(子育て学習センター、平芝保育所げんきクラブ)」(8.5%)、「その他当該自治体で実施している同様の事業」(5.3%)がつづいています。

子育て支援サービスの認知度（就学前児童）



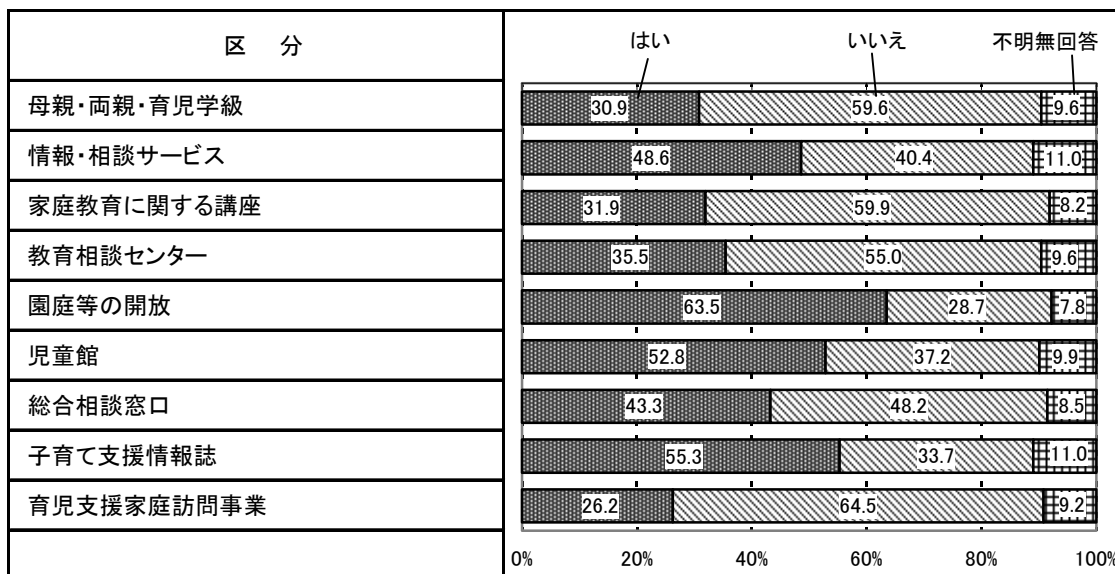
「はい」の回答をみると、「情報・相談サービス」が70.2%で最も高く、「園庭等の開放」が59.6%とつづいています。また「いいえ」の回答は、「家庭教育に関する講座」が72.0%で最も高く、「育児支援家庭訪問事業」が62.8%と続いています。

子育て支援サービスの利用の有無（就学前児童）



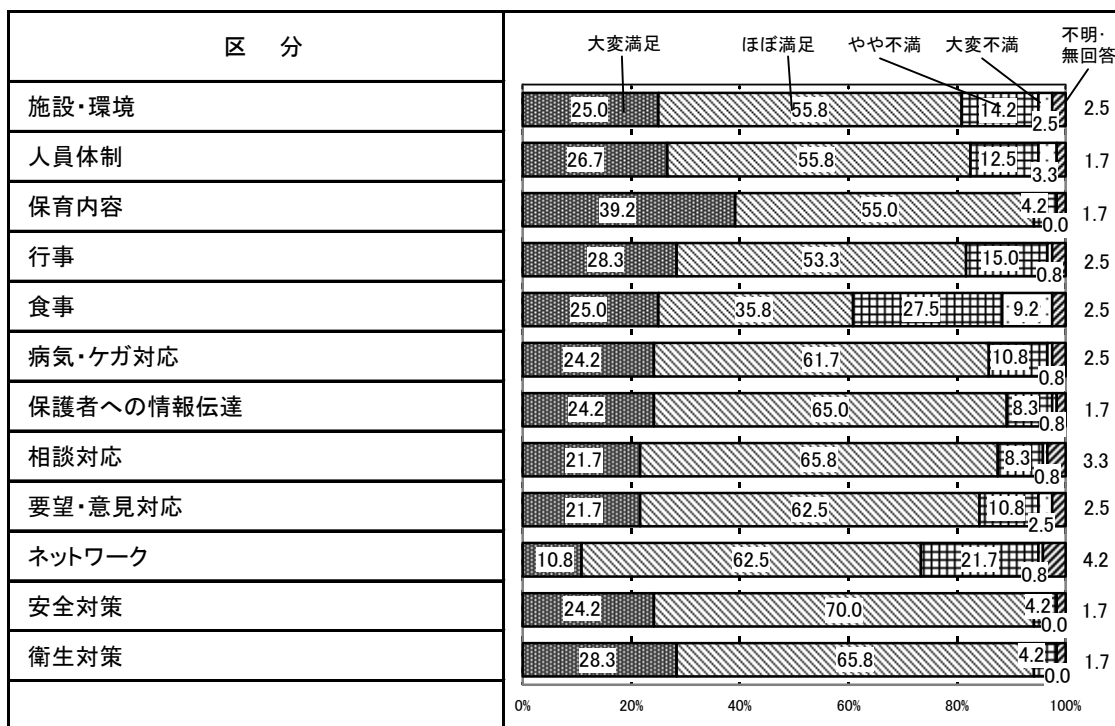
「はい」の回答をみると、「園庭等の開放」が32.3%で最も高く、「情報・相談サービス」が27.3%とつづいています。また「いいえ」の回答は、「教育相談センター」が89.0%で最も高く、「家庭教育に関する講座」が85.1%と続いています。

子育て支援サービスの利用希望（就学前児童）



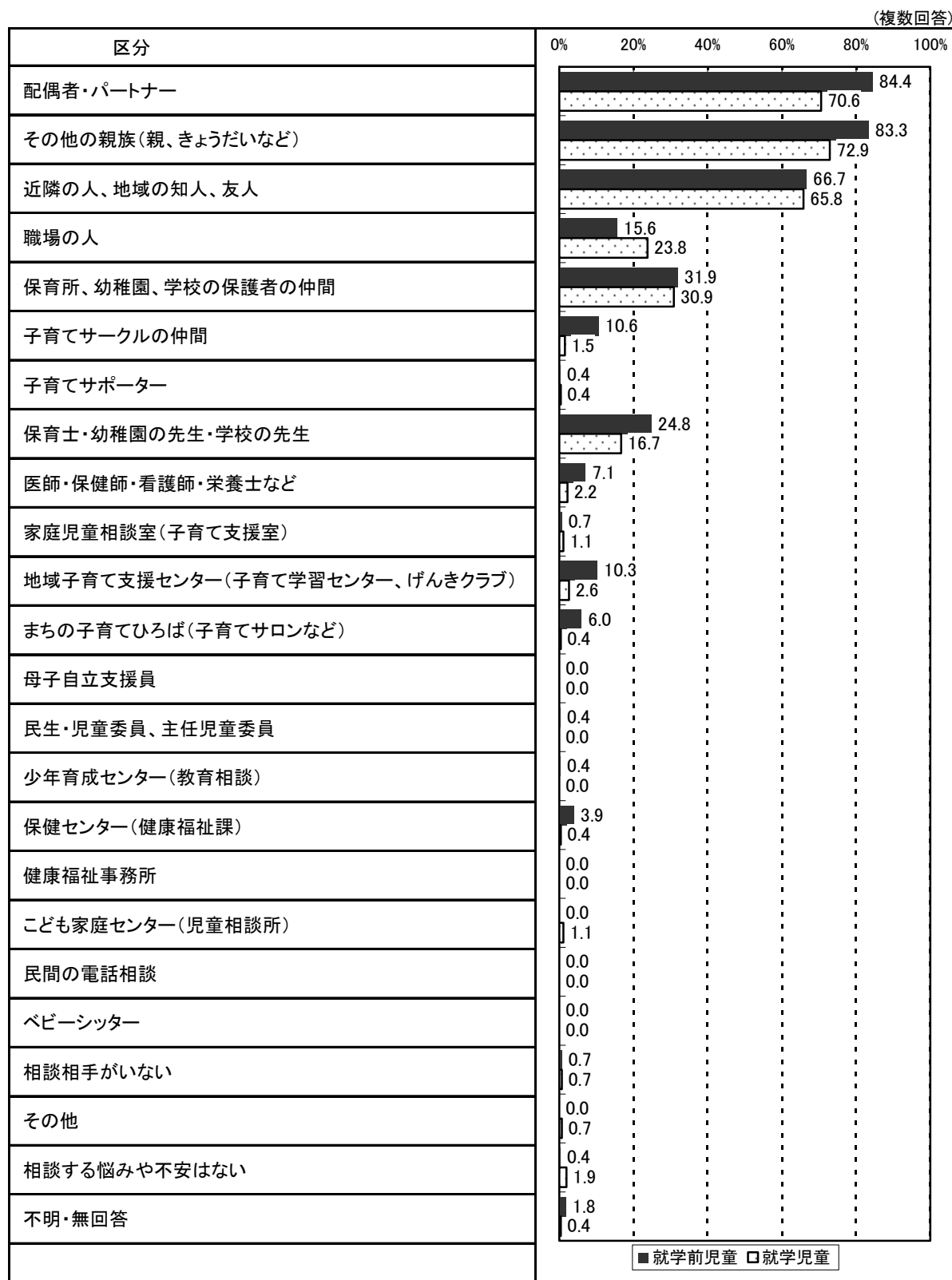
「はい」の回答をみると、「園庭等の開放」が63.5%で最も高く、「子育て支援情報誌」が55.3%とつづいています。また「いいえ」の回答は、「育児支援家庭訪問事業」が64.5%で最も高く、「母親・両親・育児学級」が59.6%と続いています。

保育サービスの満足度（就学前児童）



「大変満足」をみると、「保育内容」が39.2%と最も高く、「行事」（28.3%）、「衛生対策」（28.3%）がつづいています。

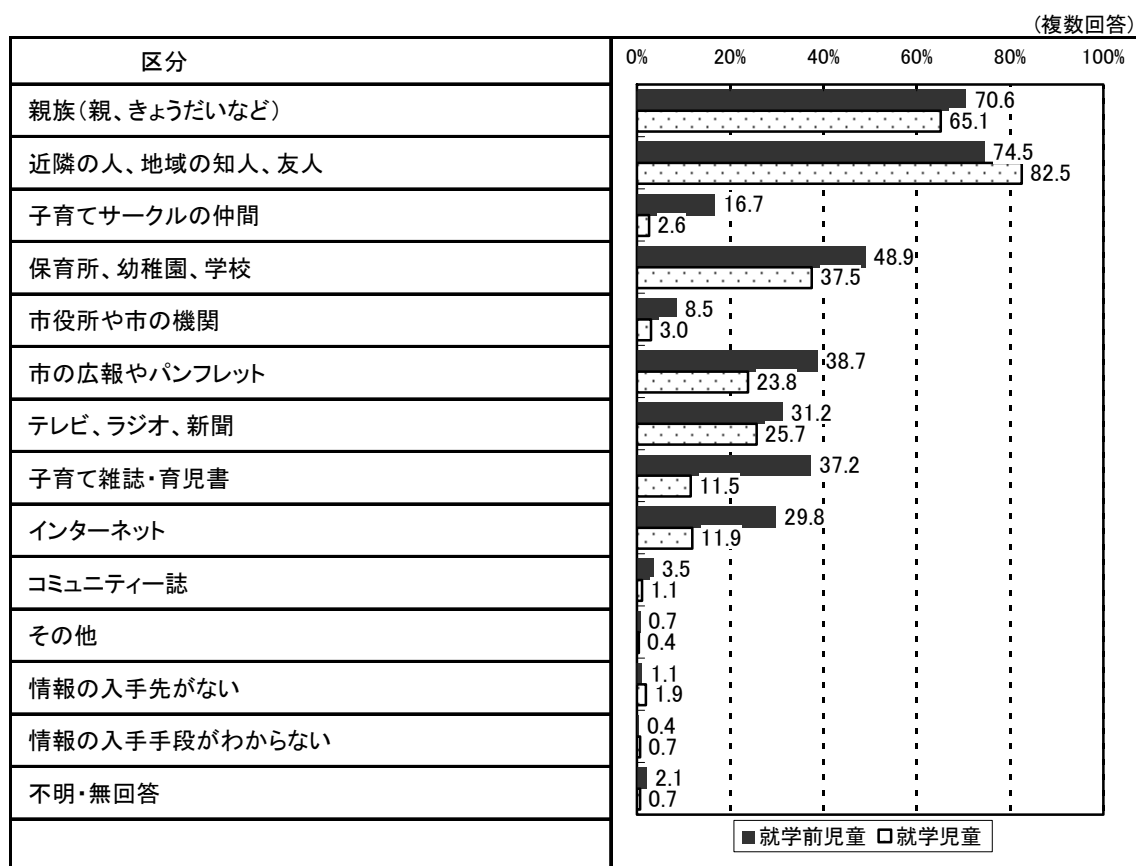
子育てに関する相談相手



就学前児童調査では「配偶者・パートナー」が84.4%で最も高く、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(83.3%)、「近隣の人、地域の知人、友人」(66.7%)がつづいています。

就学児童調査では「その他の親族(親、きょうだいなど)」が72.9%で最も高く、「配偶者・パートナー」(70.6%)、「近隣の人、地域の知人、友人」(65.8%)がつづいています。

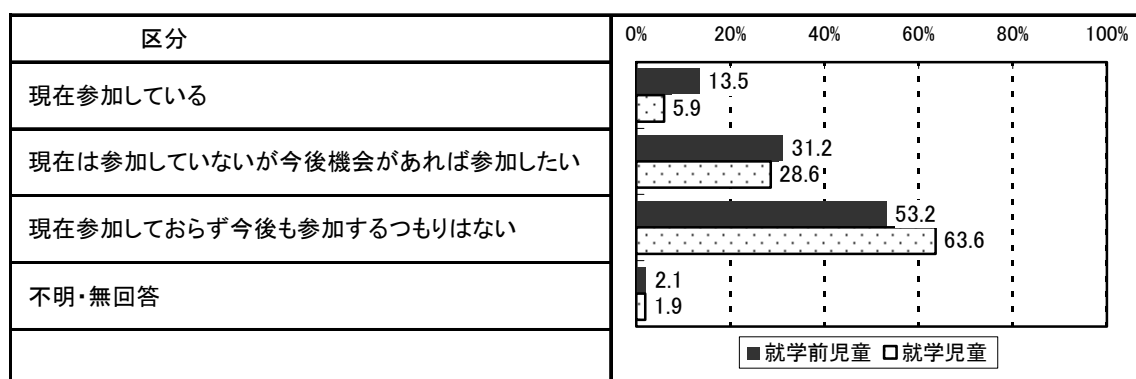
子育てに関する情報の入手方法



就学前児童調査では「近隣の人、地域の知人、友人」が74.5%で最も高く、「親族(親、きょうだいなど)」(70.6%)、「保育所、幼稚園、学校」(48.9%)がつついています。

就学児童調査では「近隣の人、地域の知人、友人」が82.5%で最も高く、「親族(親、きょうだいなど)」(65.1%)、「保育所、幼稚園、学校」(37.5%)がつついています。

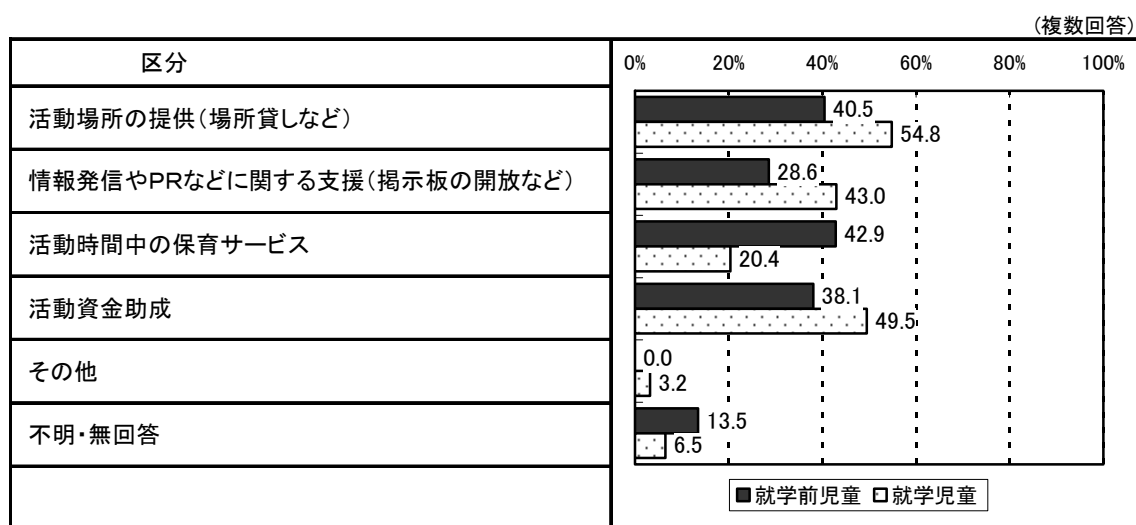
子育てに関するサークルなどへの自主的な参加状況



就学前児童調査では「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が53.2%で最も高く、「現在は参加していないが今後機会があれば参加したい」(31.2%)、「現在参加している」(13.5%)がつついています。

就学児童調査では「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が63.6%で最も高く、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」(28.6%)、「現在参加している」(5.9%)がつついています。

自主的な活動をしていくために希望する行政の支援

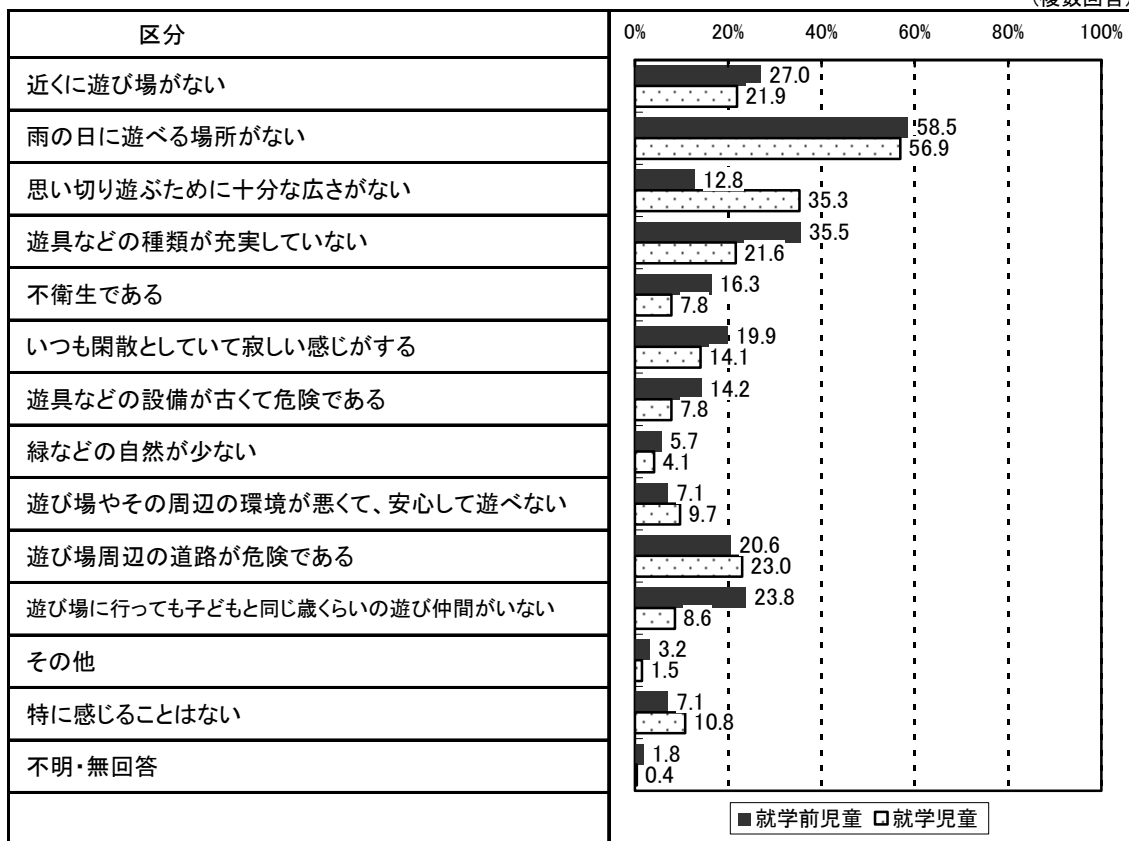


就学前児童調査では「活動時間中の保育サービス」が42.9%で最も高く、「活動場所の提供(場所貸しなど)」(40.5%)、「活動資金助成」(38.1%)がつづいています。

就学児童調査では「活動場所の提供(場所貸しなど)」が54.8%で最も高く、「活動資金助成」(49.5%)、「情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など)」(43.0%)がつづいています。

子どもの遊び場について

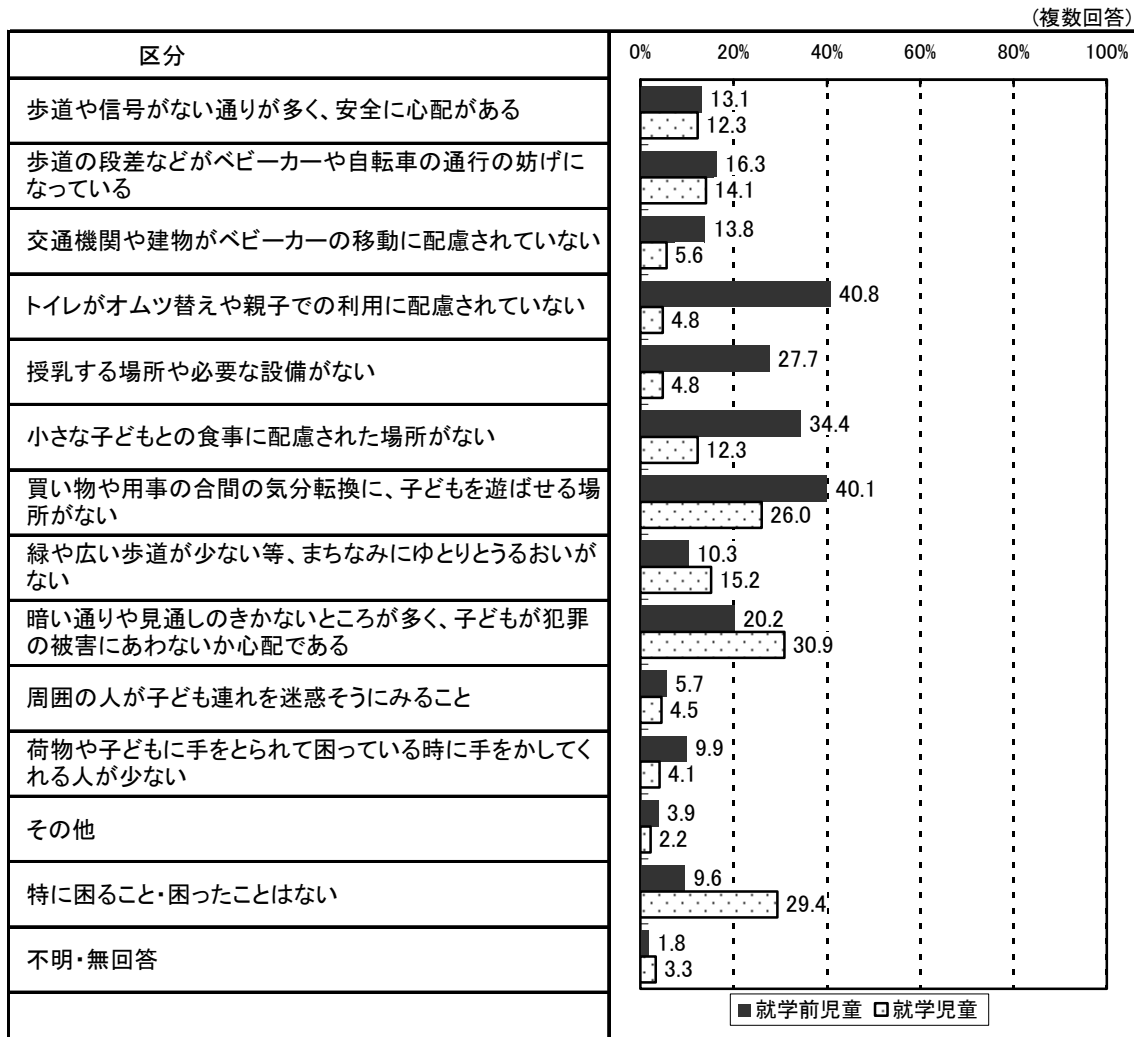
(複数回答)



就学前児童調査では「雨の日に遊べる場所がない」が58.5%で最も高く、「遊具などの種類が充実していない」(35.5%)、「近くに遊び場がない」(27.0%)がつづいています。

就学児童調査では「雨の日に遊べる場所がない」が56.9%で最も高く、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(35.3%)、「遊び場周辺の道路が危険である」(23.0%)がつづいています。

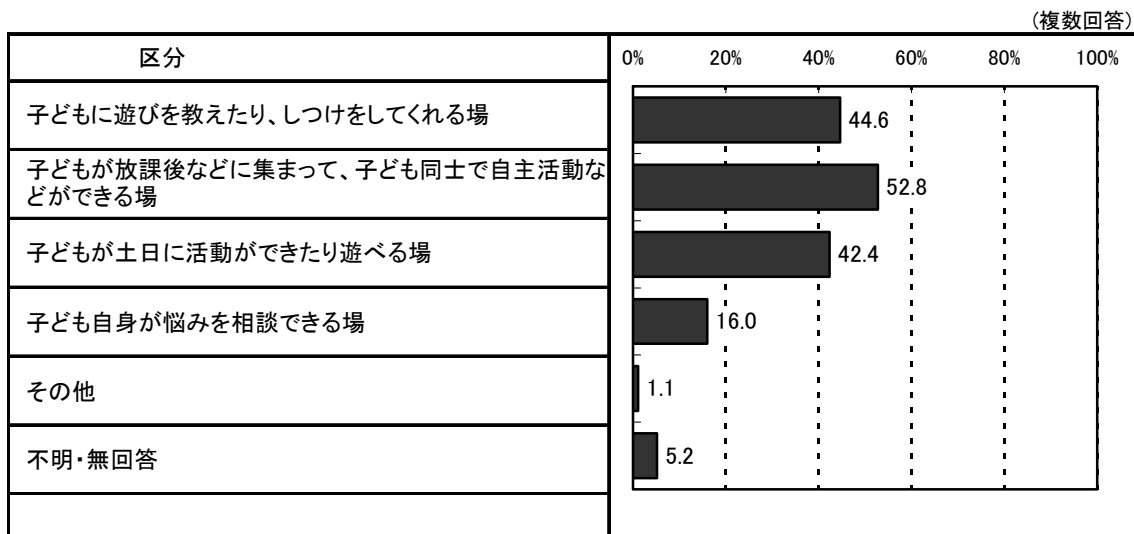
外出の際に困ること



就学前児童調査では「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」が40.8%で最も高く、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」(40.1%)、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(34.4%)がつづいています。

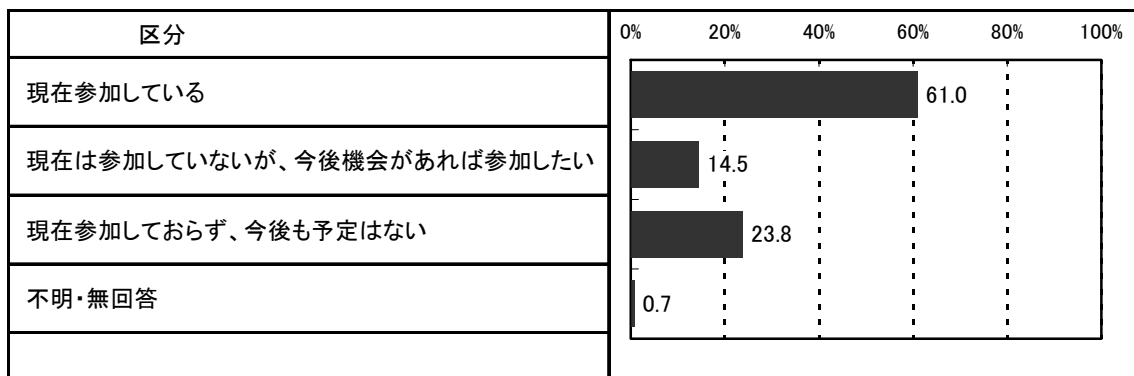
就学児童調査では「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が30.9%で最も高く、「特に困ること・困ったことはない」(29.4%)、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」(26.0%)がつづいています。

子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合に望むこと（就学児童）



「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が52.8%で最も高く、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」(44.6%)、「子どもが土日に活動ができたり遊べる場」(42.4%)がつづいています。

子供の地域活動への参加の有無



「現在参加している」が61.0%で最も高く、「現在参加しておらず、今後も予定はない」(23.8%)、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」(14.5%)がつづいています。

相生市次世代育成支援後期行動計画

平成 22 年 3 月

発行：兵庫県相生市

〒678-8585 兵庫県相生市旭 1 丁目 1 - 3

TEL：0791-22-7175 FAX：0791-23-4596

編集：相生市 子育て支援室